

職歴・フェローシップ

2024 年 4 月–	西南学院大学法学部国際関係法学科	講師
2023 年 9 月–	一橋大学法学研究科	非常勤講師
2023 年 11 月–2024 年 3 月	早稲田大学政治経済学術院現代政治経済研究所	特別研究所員
2021 年 11 月–2023 年 10 月	早稲田大学社会科学総合学術院先端社会科学研究所	助手
2023 年 4 月–2023 年 9 月	青山学院大学	非常勤講師
2017 年 4 月–2020 年 3 月	日本学術振興会	特別研究員 (DC1)

学歴

2023 年 4 月–	早稲田大学大学院政治学研究科	政治学専攻政治学コース	研究生
2017 年 4 月–2023 年 3 月	早稲田大学大学院政治学研究科	政治学専攻政治学コース	博士後期課程
2015 年 4 月–2017 年 3 月	早稲田大学大学院政治学研究科	政治学専攻政治学コース	修士課程
2011 年 4 月–2015 年 3 月	早稲田大学政治経済学部国際政治経済学科		

学位

2017 年 3 月 早稲田大学	修士 (政治学)
2015 年 3 月 早稲田大学	学士 (国際政治経済学) / 副専攻: 政治学・経済学・平和学・国際協力

研究関心

1. 国連平和維持活動 (効果・派遣・人員提供の観点から)
2. 平和構築 (とくにギニアビサウ・リベリアを含む西アフリカ地域)
3. 国際政治の計量分析

公刊業績・進行中のペーパー

査読付き公刊論文

1. Asano, Rui. 2023. “Does Peacekeeping by Civilians Work? Reducing Armed Violence without Armed Force.” *Japanese Journal of Political Science* 24(3): 289–309. [出版社] [データ]

書籍の分担執筆

1. Asano, Rui. “The 2019 National Elections in Guinea-Bissau: A Quantitative Analysis of Religious and Ethnic Voting.” In Ricardo Real P. de Sousa, Jens Herpolsheimer, and Jara Cuadrado (Eds.), *Political Instability in Guinea-Bissau* (Chapter 8; pp. 141–63). London and New York: Routledge. [出版社] [補遺および正誤表]
2. 浅野塁・井奥崇輔・栗崎周平. 2021. 「外交の計量分析——外交使節制度の衰微と再生」 (第 7 章. pp.182–210) 鈴木基史・飯田敬輔編著『国際関係研究の方法』東京大学出版会. [出版社]

進行中のペーパー

1. Asano, Rui, Makito Takei, and Naonari Yajima. “Coups and Contributions to Peacekeeping Reconsidered: A Reanalysis of Kathman and Melin (2017).” (Under review in *International Studies Quarterly*)
2. Tanaka-Sakabe, Yukako, Takashi Nagatsuji, and Rui Asano. “Violent Experiences during Civil Conflicts and the 2017 National Elections in Liberia.” (Under review in *Civil War*)

3. Annaka, Susumu, Rui Asano, and Naonari Yajima. "Military Recruitment, Democracy, and International Conflict: Do Political Regime Types Condition the Effect of Conscription?" [[SocArXiv](#)]
4. Asano, Rui. "Self-Sacrifice or Self-Protection? Personnel Commitments and Casualty Sensitivity in UN Peacekeeping Operations."
5. Asano, Rui. "UN Peacekeeping Location: Hard or Easy Cases?"

その他

1. 浅野 壘. 2024. 「2023 年ギニアビサウ国家人民議会議員選挙と社会革命党の衰退」(pp. 52–57) 『アフリカ』第 64 巻 2 号. 一般社団法人アフリカ協会.
2. 浅野 壘. 2023. 「2019 年ギニアビサウ国政選挙における宗教・民族による投票—データ分析とインタビュー調査による研究」(サブサハラ・アフリカ奨学基金 実施報告書. pp. 74–76) 『アフリカ』第 63 巻 2 号. 一般社団法人アフリカ協会.
3. 浅野 壘・長辻 貴之. 2021. 「石油・天然ガス資源をめぐるアフリカ国家間関係——大局を見るセネガルと大局を知らないギニアビサウ」(pp. 22–28) 早稲田大学地域・地域間研究機構編 『ワセダアジアレビュー No. 23』 明石書店. [[出版社](#)]
4. 浅野 壘. 2020. 「2019 年ギニアビサウ国会議員選挙——フィールド調査初心者が未知の国に行ってみた」(pp. 27–32) 早稲田大学地域・地域間研究機構編 『ワセダアジアレビュー No. 22』 明石書店. [[出版社](#)]

研究報告

学会報告

注：共同発表の場合は登壇者に*を記しています

1. Tanaka-Sakabe, Yukako, Takashi Nagatsuji*, and Rui Asano. "Violent Experience during Civil Conflicts and the 2017 National Elections in Liberia." 日本アフリカ学会 第 58 回学術大会 (2021 年 5 月 23 日. オンライン)
2. 浅野 壘. 「国連平和維持活動における犠牲者発生と要員撤退」 日本国際政治学会 2019 年度研究大会 (2019 年 10 月 18 日. 新潟)
3. Asano, Rui*, Kiyotaka Yasui, and Munenori Kita. "A Domestic Explanation for UN Peacekeeping Operations: Burden-sharing and Public Opinion." Southern Political Science Association 89th Annual Conference (2018 年 1 月 6 日. ニューオリンズ)
4. Asano, Rui. "Endogenous Peace by Peacekeepers? UN Peacekeeping Operations and Conflict Relapses." Pacific International Politics Conference 2017 Conference (2017 年 7 月 2 日. ソウル)
5. Asano, Rui. "Endogenous Peace by Peacekeepers? UN Peacekeeping Operations and Conflict Relapse." European Political Science Association 7th Annual Conference (2017 年 6 月 22 日. ミラノ)
6. Asano, Rui. "Endogenous Peace by Peacekeepers? UN Peacekeeping Operations and Conflict Relapses." Midwest Political Science Association 75th Annual Conference (2017 年 4 月 8 日. シカゴ)
7. Asano, Rui. "Endogenous Peace by Peacekeepers? The United Nations Peacekeeping Operations and Conflict Relapses." International Studies Association 58th Annual Convention (2017 年 2 月 25 日. ボルチモア)

研究会・ワークショップ・シンポジウム等での報告 (特記ない場合は招聘発表)

1. Asano, Rui, Makito Takei*, and Naonari Yajima. "Coups and Contributions to Peacekeeping Reconsidered: A Re-analysis of Kathman and Melin (2017)." 3rd Conferencia Anual de Ciencia Política del Tecnológico de Monterrey (2025 年 3 月 21 日. メキシコシティ. 選考あり)
2. 浅野 壘. "The 2019 Legislative Election in Guinea-Bissau: Was Religion A Factor?" 実験政治学ワークショップ：紛争と平和の最前線 (2023 年 2 月 28 日. 早稲田大学)
3. Asano, Rui. "The 2019 Legislative Election in Guinea-Bissau: Was Religion A Factor?" International Seminar on the (In)stability in Guinea-Bissau (2022 年 10 月 14 日. オンライン. 選考あり)
4. 浅野 壘・井奥 崇輔・栗崎 周平*. 「外交使節制度の進化と国際システムの形成」「国際関係研究の方法」研究会 (2021 年 3 月 13 日. オンライン)
5. 浅野 壘. 「国連平和維持活動の派遣パターン：紛争単位と国内行政区画単位の分析」第 2 回東大・早稲田政治学コロキウム (2021 年 1 月 14 日. オンライン)
6. Tanaka-Sakabe, Yukako*, Takashi Nagatsuji, and Rui Asano*. "Unforgettable Violent Events and the 2017 Elections in Liberia." 一橋大学ワークショップ "Workshop on Democracy, Network and Conflict" (2020 年 1 月 29 日. 一橋大学)
7. Asano, Rui. "Location and Effectiveness of UN Peacekeeping Missions in Sudan." 5th Waseda ORIS International

Symposium for Junior Researchers “Public Response to Government Policy and International Interventions” (2020 年 1 月 11 日. 早稲田大学)

8. Tanaka-Sakabe, Yukako, Takashi Nagatsuji*, and Rui Asano. “Unforgettable Violent Events and the 2017 Elections in Liberia.” 早稲田大学・青山学院大学共同ワークショップ「平和構築研究におけるイノベーション: アフリカとアジアの視点から」(2019 年 12 月 10 日. 早稲田大学)
9. 浅野 壘. “Accountable for What? Democratic Aversion to Casualties in UN Peacekeeping.” 計量・数理政治研究会 2019 年夏季大会 (2019 年 7 月 6 日. 早稲田大学. 選考あり)
10. 浅野 壘. 「国連 PKO からの撤退と政治体制」PKO 研究ワークショップ「平和維持活動の派遣と要員提供—歴史的変遷と諸相—」(2018 年 3 月 6 日. 早稲田大学. 獲得した研究費による開催)
11. 浅野 壘. 「PKO と内戦再発の実証分析」第 2 回早稲田 ORIS 若手国際シンポジウム「政治的対話と紛争の新しいパースペクティブ」(2017 年 1 月 21 日. 早稲田大学)

競争的研究資金・奨学金

公的研究費

注：研究責任者を務める（た）場合に*を記しています

1. 日本学術振興会 基盤研究 (B) (24K00214) 「紛争後社会と社会の信頼醸成：社会再統合後の元兵士、コミュニティ、エリートとの関係」2024–2027 年度. 計 1,755 万円 [[KAKEN](#)] (田中（坂部）有佳子・長辻貴之との共同研究)
2. *日本学術振興会 研究活動スタート支援 (22K20120) 「国連平和維持活動の実態：具体的な業務内容の解明と業務実施率に関する分析」2022–2024 年度. 計 220 万円. [[KAKEN](#)]
3. *日本学術振興会 特別研究員奨励費 (17J04618) 「平和維持活動による『内生的平和』：紛争への参加動機と紛争再発防止に関する研究」2017–2019 年度. 計 280 万円. [[KAKEN](#)]

民間機関からの研究助成

1. *一般財団法人アフリカ協会 サブサハラ・アフリカ奨学基金 「ギニアビサウにおける人口構成調査—民族背景による投票とガバナンス実態の解明」2021 年度下期. 60 万円. [[助成機関 HP](#)]
2. 三井住友銀行国際協力財団 発展途上国関連調査・研究プロジェクト助成 「平和維持活動と国内政治情勢に関する実証分析」2017 年度. 100 万円. (安井清峰・田中（坂部）有佳子・喜多宗則との共同研究)

所属機関からの研究助成

1. *早稲田大学 特定課題研究助成費「研究基盤形成」(2023C-195) 「国連平和維持活動における業務内容の解明」2023 年度. 30 万円
2. *早稲田大学 特定課題研究助成費「研究基盤形成」(2022C-196) 「国連平和維持活動の効果と派遣パターンに関する実証研究」2022 年度. 30 万円
3. *早稲田大学 特定課題研究助成費「アーリーキャリア支援」(2022E-028) 「国連平和維持活動の効果に関する実証研究」2022 年度. 20 万円

その他

1. 早稲田大学 SGU 実証政治経済学拠点. Financial Support for the Australian National University (ANU) Summer School in Political Analysis. 2021 年. 600 ドル. [[受講報告](#)]
2. 早稲田大学 SGU 実証政治経済学拠点. Financial Support for the Essex Summer School. 2020 年. 1,000 ポンド
3. 早稲田大学 SGU 実証政治経済学拠点. Financial Support for the Inter-university Consortium for Political and Social Research (ICPSR) Summer Program. 2017 年. 飛行機代実費
4. ICPSR 国内利用協議会ハブ機関. ICPSR Summer Program 参加助成. 2017 年. 10 万円

奨学金

1. 早稲田大学 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援金 (2020 年度)
2. 早稲田大学 日本学術振興会特別研究員 DC 採用者支援奨学金 (2017–2019 各年度)
3. 早稲田大学 小野梓記念奨学金 (2013・2016 年度)
4. 早稲田大学 創立 125 周年記念奨学金 (2012 年度)
5. 埼玉海事育英財団奨学生 (2011–2015 年度)

授業経験

西南学院大学

1. 計量政治学（2025 年度→）[シラバス]
2. 専門演習Ⅰ・Ⅱ（2025 年度→）[シラバスⅠ][シラバスⅡ]
3. 基礎演習（2024 年度→）[シラバス]
4. 英書講読Ⅰ・Ⅱ（2024 年度→）[シラバス]
5. 国際協力論（2024 年度→）[シラバス]
6. 政治理論（2024 年度）[シラバス]
7. 比較政治学（2024 年度）[シラバス]

その他の大学

1. 国際政治の計量分析Ⅰ・Ⅱ / 国際政治の計量分析特殊問題Ⅰ・Ⅱ / 国際政治の計量分析特殊研究Ⅰ・Ⅱ / 国際政治のデータ分析Ⅰ・Ⅱ（2023 年度秋・冬学期→. 一橋大学法学部 / 大学院法学研究科 / 国際・公共政策大学院）[シラバスⅠ][シラバスⅡ]
2. データ分析概論 / 国際政治理論Ⅰ（2023 年度前期. 青山学院大学国際政治経済学部）[シラバス]
3. 国際政治学（「集団安全保障と平和維持活動」に関する講義 1 回を担当. 2016・2020・2021 年度春学期. 早稲田大学政治経済学部）

補助経験

授業補助

1. Seminar on Economy and Business（2019・2020 年度. 早稲田大学国際教養学部）
2. 政治学研究方法（数理分析）（2016・2017・2019 年度春学期. 早稲田大学大学院政治学研究科）
3. 政治分析入門（2018 年度秋学期. 早稲田大学政治経済学部）
4. 比較政治文献研究（2017 年度秋学期. 早稲田大学大学院政治学研究科）
5. 国際政治学（2015・2016・2020・2021 年度春学期. 早稲田大学政治経済学部）

研究補助

1. 根元邦朗（2018–2019 年. 武蔵大学）
2. 安井清峰（2017–2019 年. 早稲田大学）
3. 田中（坂部）有佳子（2017 年. 早稲田大学）
4. 栗崎周平（2015–2017・2020–2021 年. 早稲田大学）

トレーニング

サマー／ウィンターコース

1. Australian National University Summer School
 - Political Text Analysis (2021 年. オンライン)
2. ICPSR Summer Program in Quantitative Methods of Social Research（2017 年. ミシガン大学）
 - Empirical Modeling of Social Science Theory: Advanced Topics
 - Maximum Likelihood Estimation II
3. Essex Summer School
 - Spatial Econometrics（2020 年. オンライン）
 - Multilevel Modeling/Hierarchical Models（2017 年. 早稲田大学）
 - Maximum Likelihood Estimation（2016 年. 早稲田大学）

その他

1. Quantitative Social Science（2018 年. 東京大学）
2. Mastering 'Metrics: Empirical Strategies for Policy Analysis（2018 年. 東京大学）
3. Introduction to Causal Inference（2016 年. 慶應義塾大学）
4. Advanced Research Methods and Statistical Techniques in Political Science（2016 年. 早稲田大学）

フィールド調査経験

1. ギニアビサウ（計約 4 ヶ月. 2018–2020 年、2023 年、2025 年）
2. リベリア（計約 3 週間. 2019 年、2025 年）
3. セネガル（計約 3 週間. 2018–2019 年）
4. アメリカ・ワシントン DC（1 週間. 2017 年. カケハシプロジェクトによる派遣）[\[派遣報告\]](#)

スキル

- ソフトウェア： \LaTeX , R/RStudio, Stata
- 言語：日本語、英語

学術活動

所属学会

1. 日本アフリカ学会（2021 年–）
2. 日本国際政治学会（2019 年–. 2019–2020 年度地域・院生研究会関東地区副代表）
3. 日本政治学会（2017 年–）

学会討論

1. 日本国際政治学会 2021 年度研究大会 分科会セッション D 院生・若手研究分科会 II

その他

1. 西南学院大学オープンキャンパスにおける模擬講義「国際政治の捉え方：戦争と平和のデータ分析」（2024 年 8 月 3 日. 西南学院大学）
2. lara Lee 監督「ユナイト・フォー・ビサウ」上映会開催（2024 年 1 月 27 日. カラバッシュ）
3. 栗崎周平研究室主催「Life After Master's Degree」における登壇（2023 年 11 月 15 日. 早稲田大学）
4. Africa Diaspora Network Japan 主催「DISCOVER AFRICA # 10・リベリア特集: 歴史、文化、ビジネス、リベリア人がすべてを語る・アフリカを一緒に旅しよう@ ZOOM イベント」における登壇（2021 年 2 月 28 日. オンライン）
5. 早稲田大学大学総合研究センター主催「TA を対象としたセミナー」における登壇（2020 年 5 月 8 日. オンライン）
6. lara Lee 監督「ブルキナベ・ライジング」上映会開催（2020 年 1 月 25 日. 早稲田大学）
7. 青山学院大学 佐桑健太郎研究室における研究発表（2019 年 10 月 28 日. 青山学院大学）
8. 星野学園による取材および STELLA 誌へのインタビュー掲載（2018 年）
9. 早稲田大学におけるケネス・シュルツ教授講演の補助（2016 年）

最終更新：2025 年 4 月 25 日